# 一般質問（要旨）

## GLP昭島プロジェクトに係る交通課題等について

公明党昭島市議団　渡辺　純也　議員

**質問**　GLP昭島プロジェクトに係る交通課題等について、車両数増加による交通渋滞や交通安全対策などを心配する声を聞く。①大型車両を周辺の路上に絶対に駐停車させない仕組みが必要と考える。事業者側の対応は。②地域住民も含めた三者協議の設置に係る協定を締結し、施設稼働後も、協議ができる場を確実に作っていくべき。考えは。

**答弁**　①敷地内に入庫のピーク台数をはるかに超える駐車場を確保する予定と聞いている。引き続き交通渋滞回避等に積極的に取り組むよう求めていく。②現状の課題等の共有や改善策等を定期的に協議できる場の設置が必要と考える。三者協議会の設置は協定締結による担保を考えており、事業者も了承している。

**質問**　エスカレーターの安全な利用の促進に向け、エスカレーターを立ち止まって利用することを積極的に周知していくべき。考えは。

**答弁**　正しく安全な乗り方を周知することは重要であると考える。市が管理するエスカレーターについても歩行禁止の周知方法等を検討していく。

**質問**　児童遊園・街路等における除草作業について、近年の急激な気候変動により草木の成長が早く、現在の委託による除草作業では対応しきれない可能性がある。除草専門の職員を採用するなど、思い切った対策を講じるべき。考えは。

**答弁**　雑草の繁殖力が更に増しているため、予算を増額し対応しているが追いついていない。除草専門の職員を採用することも含め、どのような手法が効果的・効率的で対応可能かあらゆる視点で検討していく。

## 市民の命・暮らし・権利が大切にされる市政について問う

日本共産党昭島市議団　奥村　博　議員

**質問**　生活保護申請について、①市ホームページには相談の流れや仕組み等の記載がない。内容を分かりやすく改善すべき。②きめ細かな対応や負担軽減のため、ケースワーカーを国の配置基準に基づき増員すべき。③利用者の保護申請権はしっかりと保障すべき。

**答弁**　①制度の仕組みが分かりやすく伝わるよう、更新を検討する。②これまでも人員増を図ってきた。引き続き全体の状況を見ながら人材の確保に努めていく。③申請には適切に対応している。

**質問**　住宅セーフティネット法が改正されたが、①生活保護受給者は制度の対象となっているか。②改正に伴う市の対応は。

**答弁**　①住宅確保要配慮者に該当する。②本制度による住宅認定事務を行うこととなるため、施行に向け体制等の準備を行っている。

**質問**　米軍横田基地外へのPFAS汚染水流出について、①基地内のPFAS汚染水の現状は。②汚染水の流出が市に与える影響への認識は。③市が所有する井戸等の水質検査や土壌検査を行うべき。考えは。

**答弁**　①在日米軍が保有するPFAS含有泡消火剤について、全ての米軍施設において廃棄・焼却処分が完了した旨の説明を受けている。②都と周辺市町連絡協議会として再三にわたり迅速かつ正確な情報提供等を求めてきた。汚染水が流出した地点の水質検査では暫定目標値を下回っているが、全項目への対応には至っていない。③現時点で独自調査の予定はないが、引き続き国等の動向を注視し、都に対し汚染実態の原因究明・共有等を要望していく。

華やかなお出迎え
（はたちのつどい）

## 地域防災について

自由民主党昭島市議団　木﨑　親一　議員

**質問**　街頭消火器の普及について、他自治体の自治会では初期消火に注力するため、5から10世帯ごとに1台設置している。また、消火器ボックスに安否確認点検表を収納し、少人数単位で安否確認ができるようにしている。市でも積極的に普及・啓発しては。

**答弁**　初期消火の重要性の周知や延焼防止対策につながることから、自治会からの申請だけではなく適切な場所への設置を検討していく。安否確認については、住民名簿など個人情報に係る課題もあることから、どのような活用が可能か、先行自治体の事例も含め検討していく。

**質問**　屋外施設のトイレについて、盗難防止や人件費の削減、利用者の不安や不満の解消のため、鍵付きトイレットペーパーホルダーを導入する考えは。

**答弁**　近年改築を行った拝島公園等のトイレに設置した。引き続きトイレ改築の際や利用状況等を確認し、整備に努めていく。

**質問**　学校用地の賃借料について、国に賃借料を払い続けているが、教育は国の根幹をなすものであり無償貸与されるべき。国へ免除を求めているとのことだが、再度強く求めていく考えは。

**答弁**　全国市長会等を通じた要望を継続するとともに、義務教育の安定的な制度運営を保障する観点から、国に対し要望していく。

**質問**　ごみ処理費用の縮減を図るため、小学校への出前講座等、ごみ減量教育が必要と考えるが、見解は。

**答弁**　学校からの依頼に応じ実施している。児童はもとより、家庭や社会全体でごみ減量化の取り組みが実践されるよう、今後も出前講座を実施していく。

## 昭島市の教育支援施策について

都民ファーストの会・立憲民主党昭島市議団　ゆざ　まさ子　議員

**質問**　不登校児童・生徒の支援ニーズが多様化する中、①校内別室登校支援員の勤務時間が午前のみとなっている。午後の登校希望者への対応は。②児童・生徒が更に過ごしやすい環境を整備するため、予算確保等を図っているのか。

**答弁**　①午後も対応できる支援員をはじめ、管理職を含めた教員で対応している。②既定の予算を有効活用し、温かな雰囲気の教室となるよう、各校で工夫している。

**質問**　拝島第三小学校をモデル校とした教科担任制の導入について、①運用における効果と課題は。②教員の働き方改革の観点からも有効と考える。今後の方向性は。

**答弁**　①児童と教員の多様な人間関係が生まれた一方で、教科の指導機会減少に不安を持つ教員がいること等が挙げられる。②実施前と比較し、時間外勤務が大幅に減少した。引き続き教員の負担軽減に資する取り組みにつなげていく。

**質問**　災害対策について、①ペット同行避難の課題解決に向けた取り組みを強化すべき。ペット同行避難訓練を行う考えは。②平時にはイベントにも活用できるトイレトレーラー等の導入について、考えは。

**答弁**　①総合防災訓練等で実施できるよう検討していく。②災害時での快適なトイレ環境の確保や様々な事例への活用など、総合的な視点を踏まえ、調査・研究していく。

**質問**　昭島駅南口などにおけるムクドリ被害について、専門的知識を持つ人材の活用など、対策は。

**答弁**　都や専門家の意見を参考に、忌避音による追い払いや効果的な樹木せん定を検討していく。

2面下段より

## 厚生年金への地方議会議員の加入を求める陳情を採択とする委員長報告について

**反対**

日本共産党昭島市議団　奥村　博　議員

地方議会議員年金制度は、平成の大合併により財政が悪化し廃止に至った。

陳情では、地方議会議員のなり手不足を解消するための対策の一つとして、厚生年金への加入が大変有効な対策と述べられている。

しかし、現在の公的年金制度の財源は、被保険者の保険料と国庫負担金、保険料積立金の運用益で構成されており、このうち厚生年金の保険料の半分は事業者が負担する仕組みになっている。地方議会議員が加入するということは、各自治体が年金保険料の半分を負担することになる。その財源は市民の税金であり議論や合意が必要となり、到底市民の理解は得られない。

マクロ経済スライドで年金が減らされることへの国民の批判が大きく広がっている下で、地方議会議員の年金制度は国民の誰もが安心して暮らせる年金制度の確立に向けた国民的議論の中で決めるべきであり、本陳情を採択とする委員長報告に対して、反対する。

## ご利用ください　声の市議会だより　点字市議会だより

目の不自由な方に、市議会の活動をよりよく知っていただくため、声の市議会だより・点字市議会だよりを発行しています。

ご希望の方は、議会事務局までご連絡ください。

※声の市議会だよりは、デジタル録音図書であるデイジー版をＣＤにて提供しています。

電話 042-544-4476（直通）

## お知らせ

議員の電話番号が、次のとおり変更となりました。

髙橋　誠　議員
090-2947-5339